



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 八洲電機株式会社

コード番号 3153 URL <http://www.yashimadenki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 明夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 今町 和至

TEL 03-3507-3349

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	29,358	△19.1	277	△21.2	339	△17.8	156	△4.8
25年3月期第2四半期	36,301	2.6	352	△52.7	413	△48.6	164	△59.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 312百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 17百万円 (△95.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.20	—
25年3月期第2四半期	7.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	39,179	14,246	35.2
25年3月期	48,296	14,238	28.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 13,808百万円 25年3月期 13,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	9.0	1,630	14.6	1,730	10.2	870	15.3	39.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	21,782,500 株	25年3月期	21,782,500 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,184 株	25年3月期	1,184 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	21,781,316 株	25年3月期2Q	21,781,325 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明資料の入手方法について)

当社は、平成25年11月21日(木)に、機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。
 この説明会で配布する決算説明資料については、開催後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、企業業績や設備投資などが上向いており、景気は地域・業界を問わず全般的に幅広く回復基調にあります。

このような状況下において、当社グループは、ソリューション機能強化による事業の拡大と収益の向上を目指し、顧客ニーズを的確に捉えた省エネ・高効率化の提案営業を推し進めてまいりました。しかし、電子デバイス・コンポーネント事業のアミューズメント分野での大幅な需要減少の影響を受けました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は293億58百万円（前年同四半期比19.1%減）、営業利益は2億77百万円（前年同四半期比21.2%減）、経常利益は3億39百万円（前年同四半期比17.8%減）、四半期純利益は1億56百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①システム・ソリューション事業

プラント事業分野では、鉄鋼及び石油化学業界の生産効率改善や老朽設備更新案件を中心に積極的な取り組みを行った結果、売上高は好調に推移しました。

社会インフラ事業分野では、運輸業界におけるインフラの老朽化対策や省エネ性能に優れた新型車両の導入等に対応し、売上高は好調に推移しました。

しかし、産業システム事業分野では、製薬・紙パルプ業界を中心に設備投資案件が増加傾向にあるものの、当期の売上高には寄与せず低調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は252億70百万円（前年同四半期比2.9%減）となり、セグメント利益（営業利益）は12億40百万円（前年同四半期比10.4%増）となりました。

②電子デバイス・コンポーネント事業

半導体市場における産業機器・通信分野では、本格的な回復には至っておらず、顧客も在庫消化に時間を要しており、売上高は低調に推移しました。

アミューズメント分野では、顧客の生産調整により、特に液晶パネルの需要が大幅に減少したため、売上高は低調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は40億88百万円（前年同四半期比60.3%減）となり、セグメント損失（営業損失）は28百万円（前年同四半期は58百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は342億39百万円で、前連結会計年度末に比べ87億7百万円減少しております。主な要因は、有価証券（4億27百万円から6億88百万円へ2億60百万円増）、商品（31億27百万円から33億77百万円へ2億50百万円増）が増加した一方、受取手形及び売掛金（271億24百万円から188億14百万円へ83億10百万円減）、未収入金（45億67百万円から37億78百万円へ7億88百万円減）が減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は49億40百万円で、前連結会計年度末に比べ4億8百万円減少しております。主な要因は、土地（7億34百万円から5億57百万円へ1億76百万円減）、ソフトウェア（12億51百万円から11億12百万円へ1億38百万円減）、繰延税金資産（4億58百万円から3億39百万円へ1億19百万円減）が減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は249億32百万円で、前連結会計年度末に比べ91億24百万円減少しております。主な要因は、支払手形及び買掛金(232億44百万円から166億63百万円へ65億81百万円減)、未払金(57億54百万円から46億64百万円へ10億90百万円減)、前受金(13億83百万円から6億36百万円へ7億46百万円減)、賞与引当金(5億83百万円から3億11百万円へ2億72百万円減)、未払法人税等(2億58百万円から1億19百万円へ1億39百万円減)が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は142億46百万円で、前連結会計年度末に比べ7百万円増加しております。主な要因は、その他有価証券評価差額金(1億81百万円から2億88百万円へ1億7百万円増)が増加した一方、利益剰余金(110億24百万円から108億98百万円へ1億26百万円減)が減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローについては、営業活動により5億4百万円増加し、投資活動により11百万円減少し、財務活動により3億95百万円減少いたしました。

その結果、現金及び現金同等物は72億73百万円と前連結会計年度末と比較して96百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、5億4百万円(前年同期比9.9%減)の増加となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益3億70百万円、非資金費用である減価償却費2億10百万円、売上債権の減少額75億63百万円、未収入金の減少額7億88百万円がキャッシュ・フローのプラスになった一方、仕入債務の減少額64億3百万円、未払金の減少額10億74百万円、たな卸資産の増加額2億99百万円、賞与引当金の減少額2億72百万円、法人税等の支払額2億69百万円、未払消費税等の減少額87百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、11百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入1億83百万円がキャッシュ・フローのプラスになった一方、敷金の差入による支出67百万円、短期貸付金の増加額45百万円、有形固定資産の除却による支出44百万円、無形固定資産の取得による支出34百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、3億95百万円の減少となりました。これは主に配当金の支払額2億82百万円、長期借入金の返済による支出91百万円がキャッシュ・フローのマイナスとなったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の業績予想につきましては、平成25年5月15日に公表したとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,925	6,909
受取手形及び売掛金	27,124	18,814
有価証券	427	688
商品	3,127	3,377
原材料	5	5
未成工事支出金	86	111
仕掛品	62	86
未収入金	4,567	3,778
繰延税金資産	351	343
その他	348	176
貸倒引当金	△80	△53
流動資産合計	42,947	34,239
固定資産		
有形固定資産	1,327	1,122
無形固定資産	1,498	1,333
投資その他の資産		
その他	2,551	2,513
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	2,522	2,483
固定資産合計	5,348	4,940
資産合計	48,296	39,179
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,244	16,663
短期借入金	380	380
未払金	5,754	4,664
未払法人税等	258	119
賞与引当金	583	311
資産除去債務	66	—
その他	1,937	1,062
流動負債合計	32,225	23,201
固定負債		
長期借入金	270	179
退職給付引当金	1,401	1,395
繰延税金負債	3	3
資産除去債務	8	8
その他	147	144
固定負債合計	1,832	1,731
負債合計	34,057	24,932

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,037	1,037
利益剰余金	11,024	10,898
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,646	13,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181	288
その他の包括利益累計額合計	181	288
少数株主持分	410	437
純資産合計	14,238	14,246
負債純資産合計	48,296	39,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	36,301	29,358
売上原価	31,291	24,664
売上総利益	5,010	4,694
販売費及び一般管理費	4,658	4,416
営業利益	352	277
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	12	13
不動産賃貸料	25	12
その他	41	51
営業外収益合計	84	82
営業外費用		
支払利息	4	4
不動産賃貸原価	9	10
その他	8	5
営業外費用合計	23	20
経常利益	413	339
特別利益		
固定資産売却益	—	27
保険解約返戻金	—	2
その他	—	0
特別利益合計	—	30
特別損失		
固定資産売却損	—	0
減損損失	34	0
その他	9	—
特別損失合計	44	0
税金等調整前四半期純利益	368	370
法人税、住民税及び事業税	142	109
法人税等調整額	36	64
法人税等合計	178	174
少数株主損益調整前四半期純利益	190	195
少数株主利益	25	39
四半期純利益	164	156

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	190	195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△172	117
その他の包括利益合計	△172	117
四半期包括利益	17	312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8	264
少数株主に係る四半期包括利益	9	48

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	368	370
減価償却費	249	210
減損損失	34	0
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△27
保険解約損益(△は益)	—	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△60	△26
賞与引当金の増減額(△は減少)	△58	△272
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7	△6
受取利息及び受取配当金	△17	△18
支払利息	4	4
売上債権の増減額(△は増加)	2,368	7,563
たな卸資産の増減額(△は増加)	6	△299
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,286	△6,403
未収消費税等の増減額(△は増加)	19	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	△49	△87
未収入金の増減額(△は増加)	2,724	788
未払金の増減額(△は減少)	△3,136	△1,074
その他	△105	22
小計	1,070	740
利息及び配当金の受取額	17	18
利息の支払額	△4	△4
法人税等の支払額	△561	△269
法人税等の還付額	38	19
営業活動によるキャッシュ・フロー	559	504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期貸付金の増減額(△は増加)	—	△45
有形固定資産の除却による支出	—	△44
有形固定資産の取得による支出	△79	△25
有形固定資産の売却による収入	0	183
無形固定資産の取得による支出	△794	△34
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
会員権の取得による支出	—	△3
会員権の売却による収入	11	—
敷金の差入による支出	—	△67
敷金の回収による収入	—	2
保険積立金の積立による支出	—	△3
保険積立金の解約による収入	—	25
その他	△3	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△869	△11

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	30	—
長期借入金の返済による支出	△96	△91
配当金の支払額	△325	△282
少数株主への配当金の支払額	△16	△22
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△408	△395
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△717	96
現金及び現金同等物の期首残高	7,522	7,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,805	7,273

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	システム・ソリューション事業	電子デバイス・コンポーネント事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	26,015	10,285	36,301	36,301	—	36,301
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	26,015	10,285	36,301	36,301	—	36,301
セグメント利益	1,123	58	1,182	1,182	△829	352

(注) 1 セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

いずれの報告セグメントにも配分されていない将来の使用が見込まれなくなった遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては34百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム・ソリューション事業	電子デバイス・ コンポーネント 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	25,270	4,088	29,358	29,358	—	29,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,270	4,088	29,358	29,358	—	29,358
セグメント利益又は 損失(△)	1,240	△28	1,211	1,211	△934	277

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。